

【総合的な学習の時間】 第5回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 テーマ設定

2. 本時の概要

本時は、生徒が自分自身の学びを自律的にコントロールし、探究活動の確かな一歩を踏み出すことを目的として設定しました。まず「LIFEログ」の導入により、日々の学習や活動を単なる事実の記録(レベル1)に留めず、自身の変化に気づき次につなげる(レベル3)「成長につながる振り返り」の習慣化を目指します。これは、短期的な振り返りを学びを操る「ハンドル」、長期的な振り返りを自分を見つめる「鏡」とする、キャリア形成の基盤となる活動です。

また、探究活動の核心である「テーマ設定」では、前時までの活動を基に、自身の興味・関心を構造化して言語化するSTEP1～4のプロセスを体験させます。これにより、漠然とした興味を「社会との関わり」や「自身の将来」を見据えた具体的な探究テーマへと昇華させる姿勢を養います。さらに、「RefNavi」を導入することで、情報収集の出典管理や進捗の可視化を行い、根拠に基づいた探究を支える技術的な基盤を整えます。

3. 本時の目標

- **LIFEログの意義と方法の理解:** 問振り返りの3つのレベル(ループリック)を理解し、自身の成長や変化を言語化して「次につなげる」記述ができるようになる。
- **探究テーマの論理的設定:** マインドマップから抽出したキーワードを関連付け、自身が深い興味を持ち、かつ社会的な意義を見出せる探究テーマを決定できる。
- **ICTツールの活用習得:** RefNaviの基本的な操作方法を習得し、収集した資料(書籍等)の登録を通じて、情報収集のプロセスを管理する準備を整える。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第5回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館
- 参考文献:
 - 佐藤浩章編(2021)『高校教員のための探究学習入門 問いから始める7つのステップ』ナカニシヤ出版

- Qareer(株式会社クアリア)(2025)『探究学習のリフレクション - 学びを動かす振り返り、学びを意味づける振り返り』<https://note.com/qareer/n/n1b734e96c2e0> アクセス年月日2026年7月28日
- Qareer(株式会社クアリア)(2025)『「自己評価」から「自己変容」へ ― リフレクションの質向上を目指して』<https://note.com/qareer/n/n84ae7532ad36> アクセス年月日2026年7月28日

5. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	①導入: 本時の内容確認 (1)LIFEログ、(2)テーマ設定、(3)RefNavi の3点について把握する。	授業の全体像を示し、本時のゴールを明確に提示する。
9分	②LIFEログ説明: 振り返りの意義を学ぶ 「ハンドル」と「鏡」の例え、学びのサイクル、3 段階のループリックについて理解する。	単なる「日記」にならないよう、レベル3(変化と次への活用)を 目指すことの重要性を強調する。
10分	③LIFEログの記入 「教科学習」「探究」「学校行事・部活動等」の3 項目について振り返る。	内容を一言で表す「タイトル」をつけるよう指導し、自分の言葉 で書くことを促す。
5分	④テーマ設定説明: 探究プロセスの確認 探究のSTEPと、テーマ決定のためのSTEP1 ～4の手順を理解する。	探究ノート(Google Classroom配信)を開かせ、氏名等の基 本情報を記入させる。
25分	⑤テーマ設定実践: STEP1～2の実施 マインドマップから言葉を拾い、関連する情報 を集めながら候補となる言葉を挙げる。	個々の端末を巡回し、マインドマップのどの言葉に注目したか 対話を通じて支援する。
【2時限目】		
25分	⑥テーマ設定実践: STEP3～4の実施 テーマの中心となる言葉を決定し、理由のポ イント(社会との関わり等)に回答してテーマを 確定させる。	「自分で決める」姿勢を尊重しつつ、テーマのポイントやキー ワードの適切さを確認する。
25分	⑦RefNaviの利用開始 ログインし、グループコードを入力して、持参 した書籍の情報を1件登録してみる。	動画資料を活用して操作を視覚的に理解させ、出典登録の簡 便さとメリットを伝える。

